



**注意事項**

スライドに記載されている、ソニーの現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。口頭もしくは書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られたソニーの経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるので、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にもかかわらず、常にソニーが将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えるリスクや不確定な要素には、以下のようなものが含まれます。(1)ソニーの事業領域を取り巻く経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特にソニーが極めて大きな売上または資産・負債を有する米ドル、ユーロまたはその他の通貨と円との為替レート、(3)エレクトロニクスビジネスで顕著な継続的な新製品導入と急速な技術革新や、ゲーム、音楽、映画ビジネスで顕著な主観的で変わりやすい顧客嗜好などを特徴とする激しい競争のなかで、顧客に受け入れられる製品やサービスをソニーが設計・開発し続けていく能力、(4)ソニーがエレクトロニクスビジネスにおいて事業再編やネットワーク戦略を成功させる能力、(5)ソニーが音楽や映画ビジネスにおいてインターネットやその他の技術開発において競争、発展し、販売戦略を成功させる能力、(6)ソニーが研究開発や設備投資に十分な経営資源を集中させる能力、(7)ソニーと他社との合併、提携の成否、(8)偶発事象の結果などです。ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。リスクや不確定な要素には、2001年9月11日に米国で発生した同時多発テロや、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

## FY02.1Q 連結業績

		前年同期比	現地通貨試算ベース*
<b>売上高</b>	<b>1兆7,218億円</b>	<b>+5%</b>	<b>+2%</b>
<b>営業利益</b>	<b>519億円</b>	<b>17.3倍</b>	<b>11倍</b>
<b>税引前利益</b>	<b>1,166億円</b>	<b>(+1,310億円)</b>	
<b>当期純利益</b>	<b>572億円</b>	<b>(+873億円)</b>	

**為替の影響 (平均レート)**

01.1Q	1ドル 122円	02.1Q	126円	
	11-11 106円		115円	
<b>売上高</b>	約 + 540億円、		<b>営業利益</b>	約 + 196億円

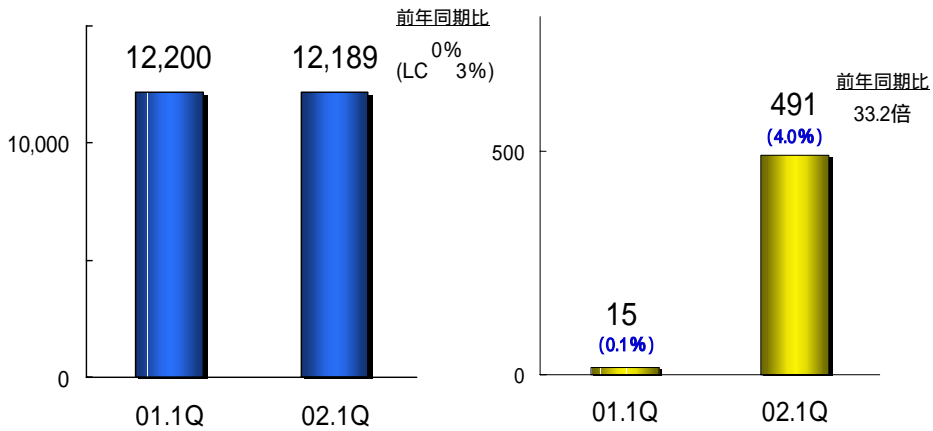
\*円と現地通貨との間には為替変動がなかったものと仮定した試算ベース (Local Currency basis)

# FY02.1Q エレクトロニクス

(億円)

## 売上高

## 営業利益

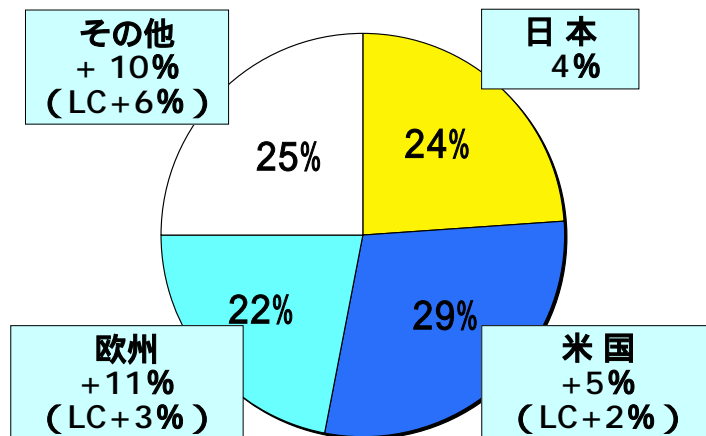


LCは現地通貨試算ベースの伸び率  
セグメント間取引を含む

( )%は営業利益率

3

# エレクトロニクス地域別売上 (02.1Q)



円グラフは地域別売上高構成比率  
内の%は前年同期比の伸び率  
LC：現地通貨試算ベースの伸び率  
営業収入を除く外部顧客売ベース

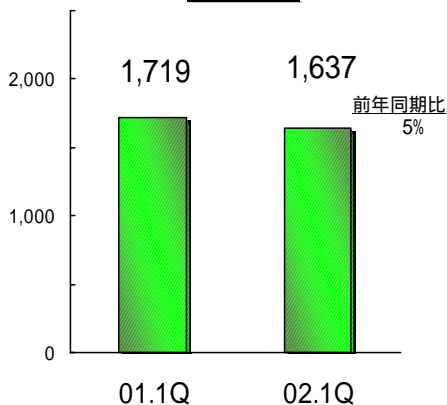
4

## エレクトロニクス分野 製品部門別業績

(億円)

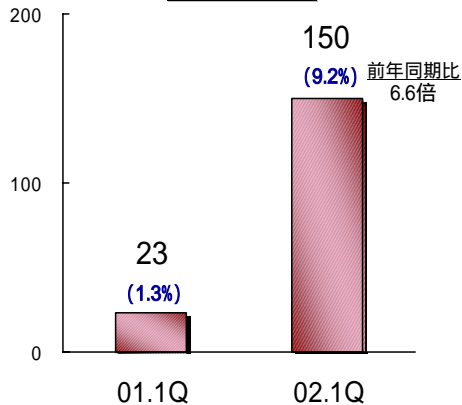
### オーディオ

#### 売上高



内販を含むベース

#### 営業利益



( )%は営業利益率

注:製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものとソニーは考えています。

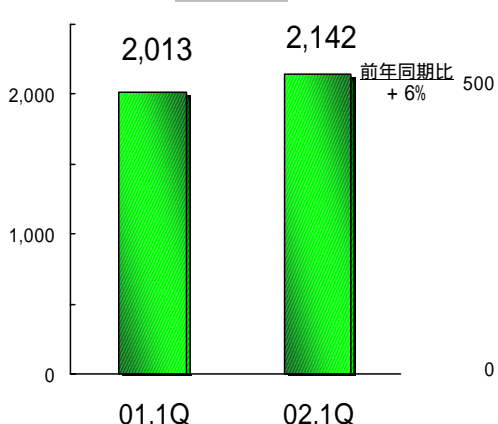
5

## エレクトロニクス分野 製品部門別業績

(億円)

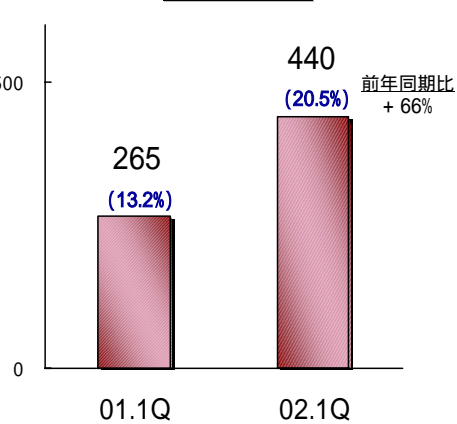
### ビデオ

#### 売上高



内販を含むベース

#### 営業利益



( )%は営業利益率

注:製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものとソニーは考えています。

6

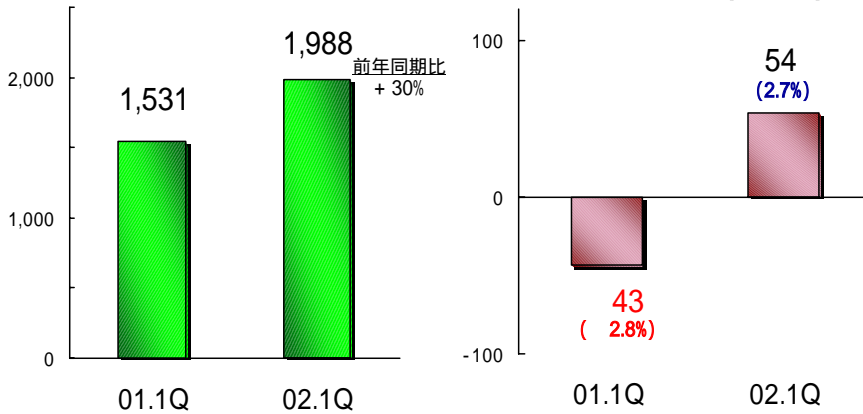
## エレクトロニクス分野 製品部門別業績

(億円)

テレビ

売上高

営業利益(損失)



内販を含むベース

( )%は営業利益率

注:製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

7

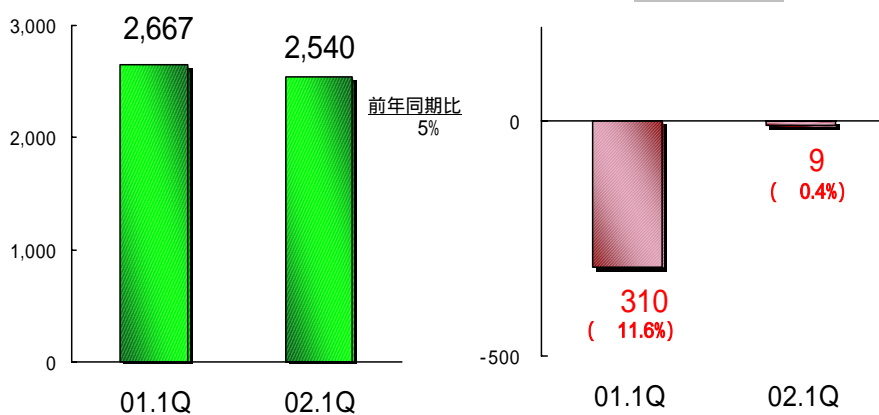
## エレクトロニクス分野 製品部門別業績

(億円)

情報・通信

売上高

営業損失



内販を含むベース

( )%は営業利益率

注:製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとソニーは考えています。

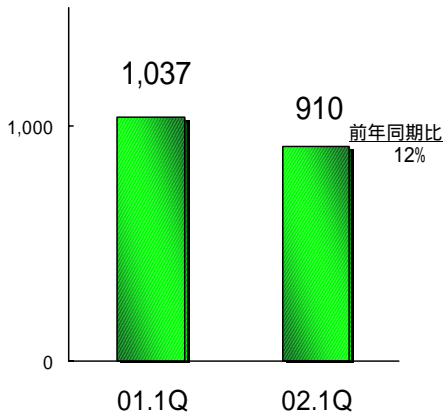
8

## エレクトロニクス分野製品部門別業績

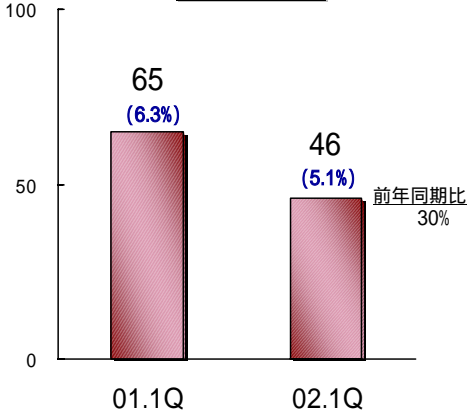
(億円)

### 半導体

#### 売上高



#### 営業利益



内販を含むベース

( )%は営業利益率

注: 製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとシニーは考えています。

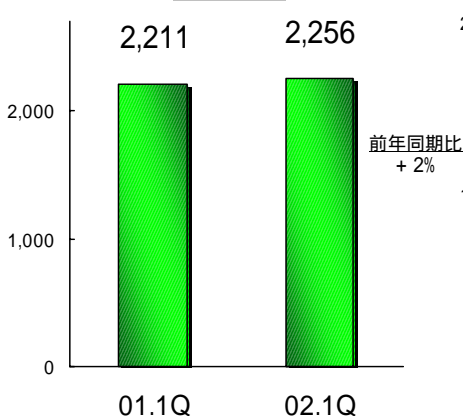
9

## エレクトロニクス分野製品部門別業績

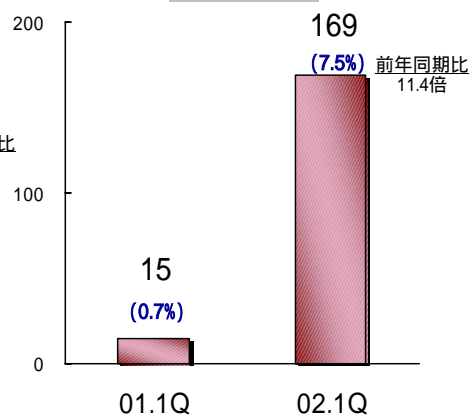
(億円)

### コンポーネント

#### 売上高



#### 営業利益



内販を含むベース

( )%は営業利益率

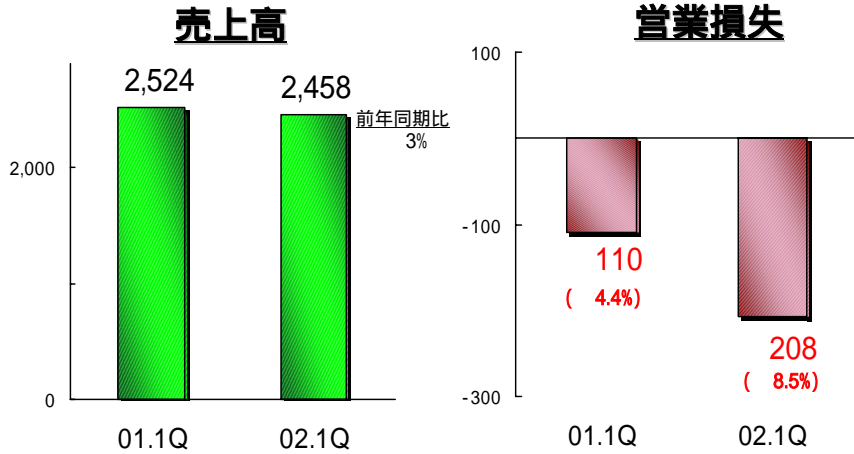
注: 製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米国会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとシニーは考えています。

10

# エレクトロニクス分野製品部門別業績

(億円)

その他



内販を含むベース

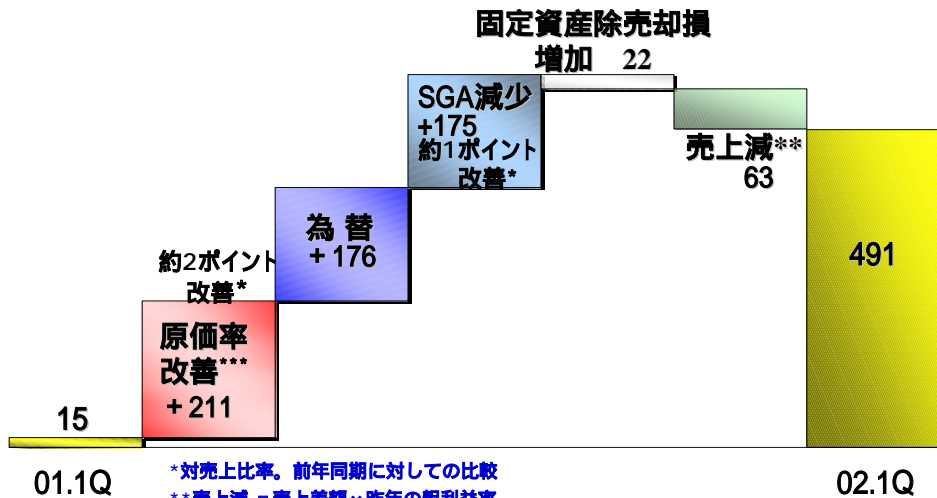
( )%は営業利益率

注:製品カテゴリー別の「営業利益(損失)」には、エレクトロニクス分野全体における費用の配賦計算が反映されています。この費用の配賦計算は、米自会計原則にもとづいて行っているものではありませんが、業績情報を提供するにあたって合理的なものであるとシソーは考えています。

11

# エレクトロニクス営業利益 増減要因(02.1Q)

(億円)



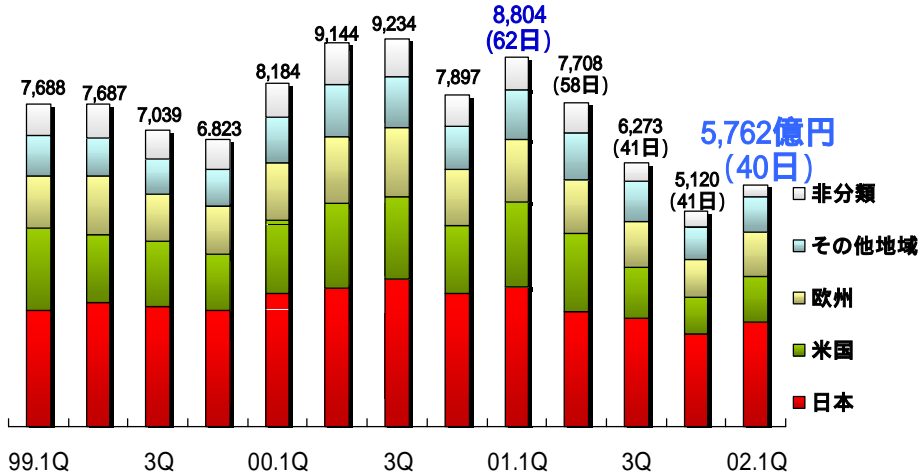
\*対売上比率。前年同期に対しての比較

\*\*売上減 = 売上差額 × 昨年の粗利益率

\*\*\*原価率改善 = 原価率の改善ポイント × 昨年の売上高

12

## エレクトロニクス連結棚卸資産(地域別)



上段：在庫水準（億円単位）

下段：期首期末平均在庫 対 平均売上回転日数

ビジネス別セグメントの区分変更により、FY99.1Q～FY01.4Qの数値は修正再表示しています。

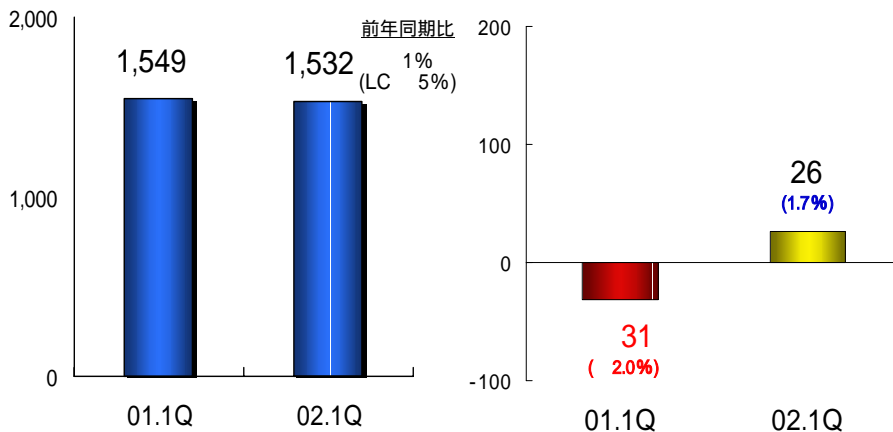
13

## FY02.1Q ゲーム

(億円)

売上高

営業利益(損失)

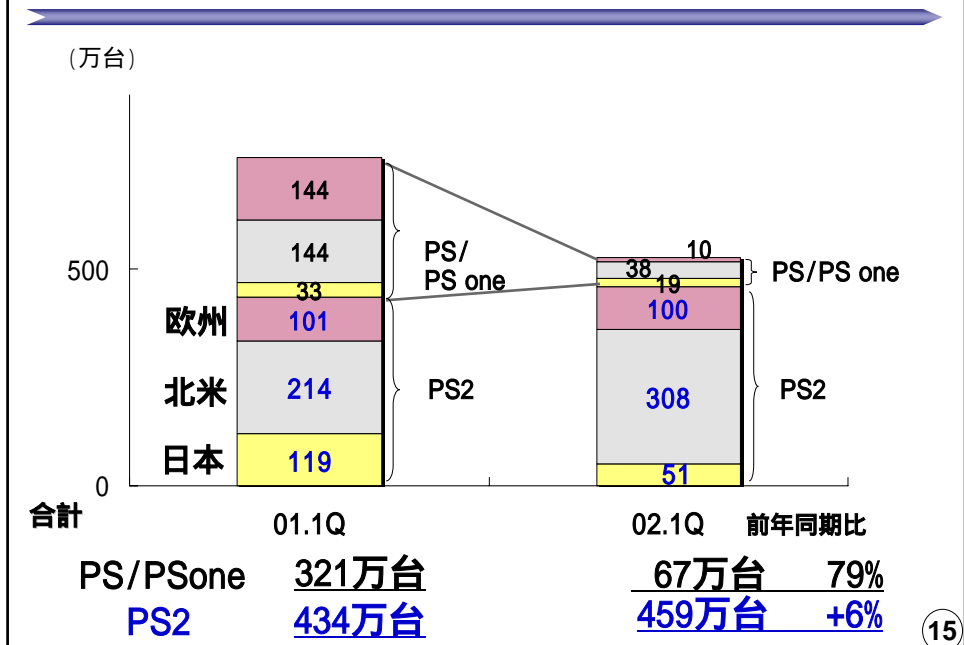


LCは現地通貨試算ベースの伸び率  
セグメント間取引を含む

( )%は営業利益率

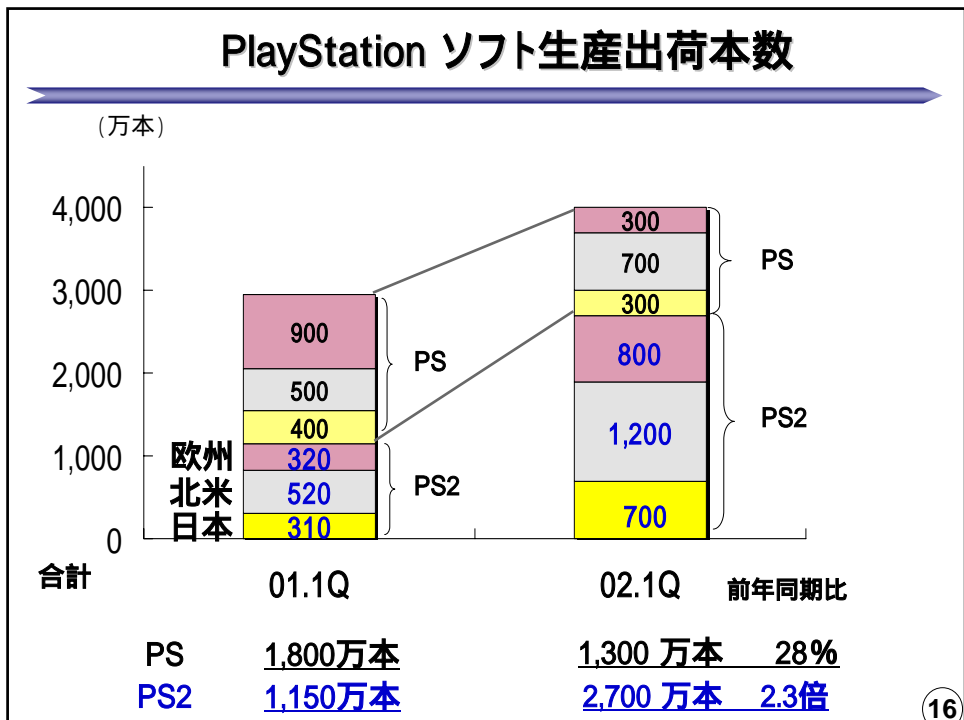
14

## PlayStation ハード生産出荷台数



(15)

## PlayStation ソフト生産出荷本数



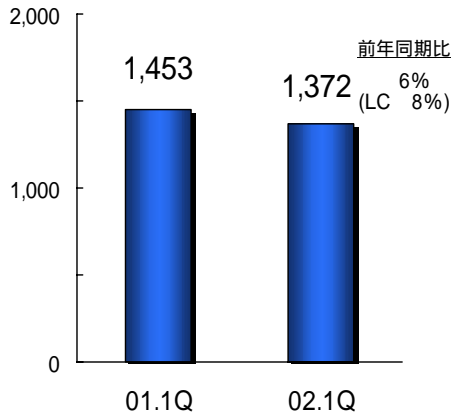
(16)



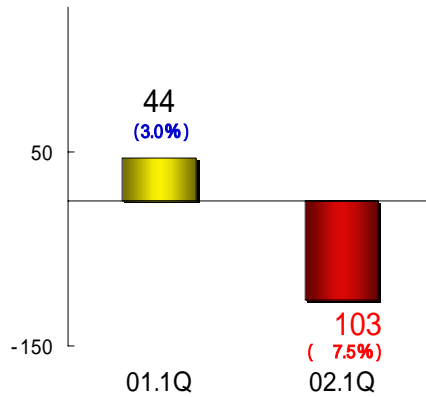
## FY02.1Q 音楽

(億円)

### 売上高



### 営業利益 (損失)



LCは現地通貨試算ベースの伸び率  
セグメント間取引を含む

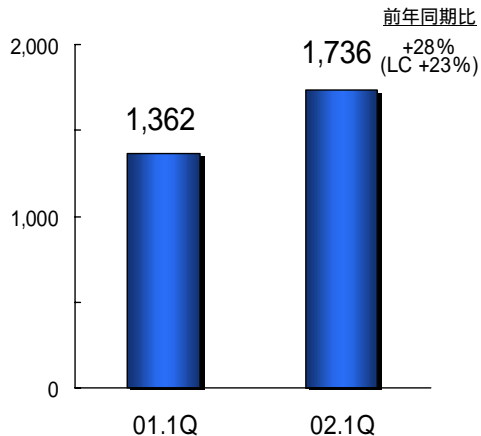
( )%は営業利益率

17

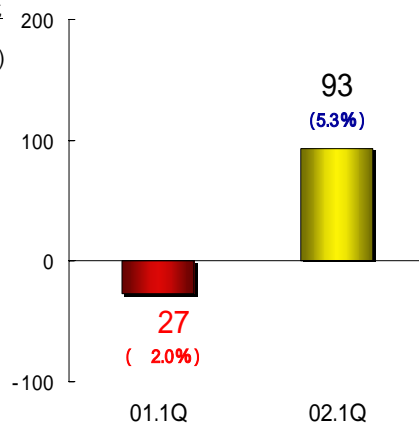
## FY02.1Q 映画

(億円)

### 売上高



### 営業利益 (損失)



LCは現地通貨試算ベースの伸び率  
セグメント間取引を含む

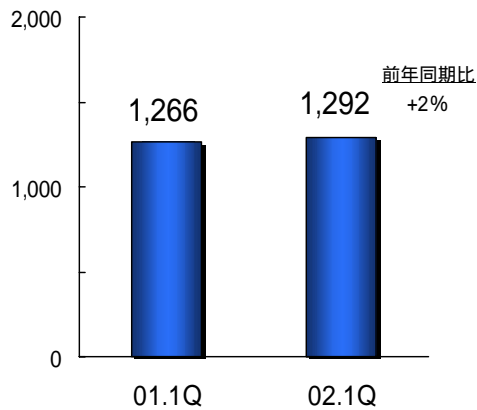
( )%は営業利益率

18

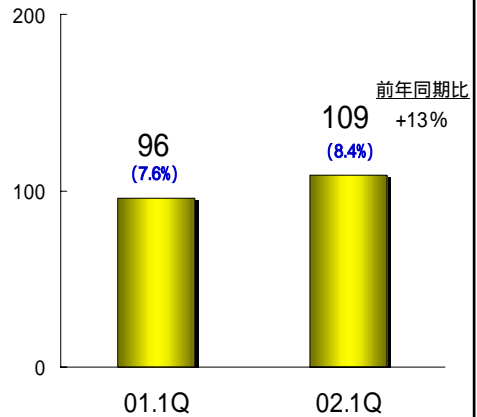
## FY02.1Q 金融

(億円)

### 金融収入



### 営業利益



セグメント間取引を含む

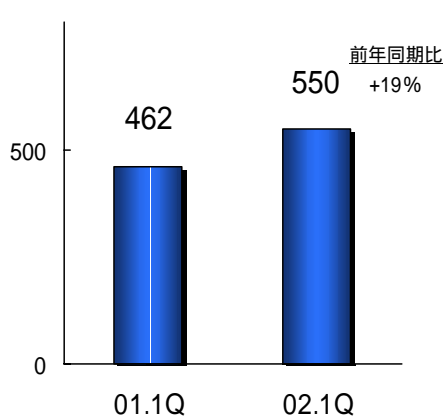
( )%は営業利益率

19

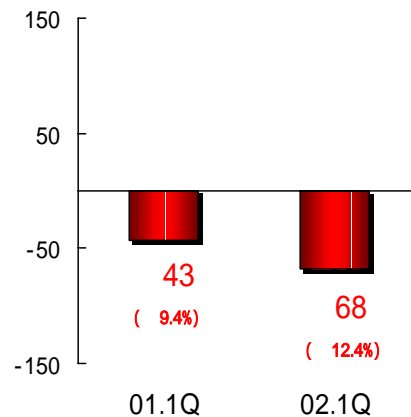
## FY02.1Q その他

(億円)

### 売上高



### 営業損失



セグメント間取引を含む

( )%は営業利益率

20

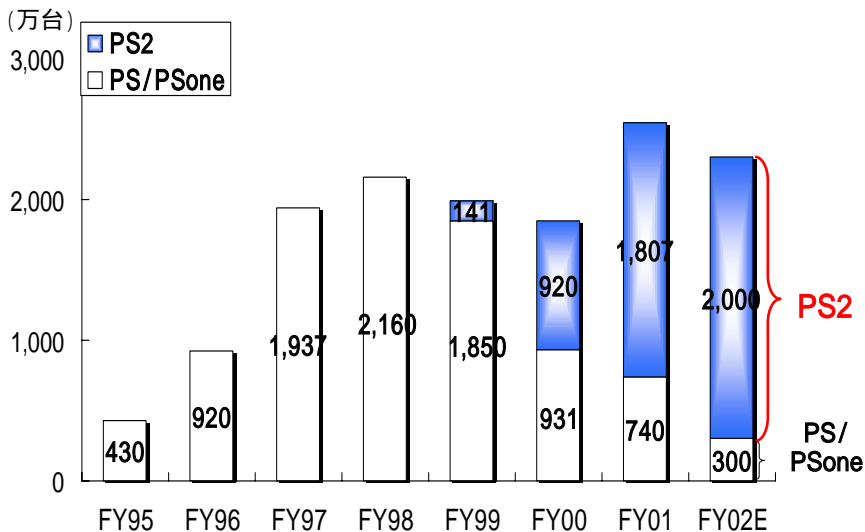
# FY02 業績見通し

(単位:億円)  
2002年7月25日現在

	FY01	FY02E	前年度比	4月時点見通し
売上高	75,783	77,000	+2%	80,000
営業利益	1,346	2,800	2.1倍	2,800
税引前利益	928	3,100	3.3倍	3,100
当期純利益	153	1,500	9.8倍	1,500
設備投資額	3,267	2,800	14%	2,800
減価償却費*	3,541	3,500	1%	3,500
(うち、有形固定資産分)	2,976	2,600	13%	2,600
*無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含む				
【為替前提レート】	FY01	02.2Q以降		4月時点
1ドル	124円	115円前後		130円
1ユーロ	109円	115円前後		115円

(21)

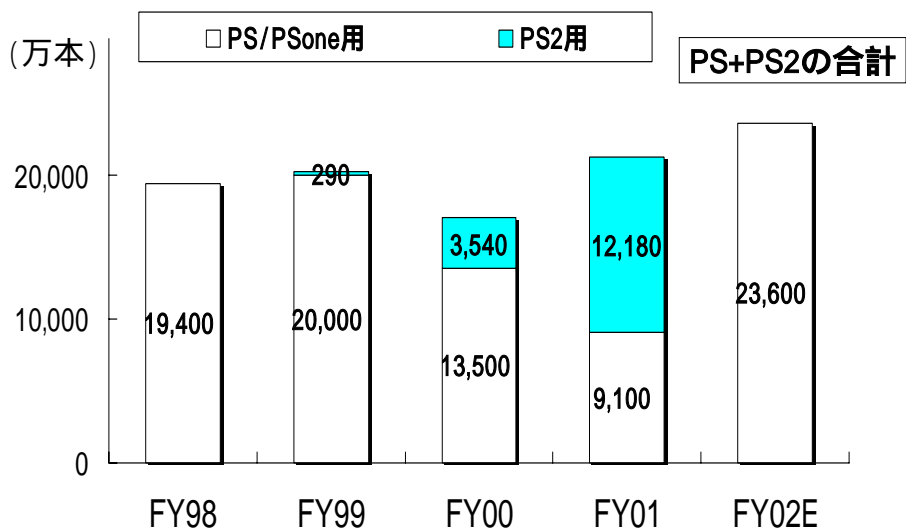
## PlayStation ハード生産出荷台数推移 & 計画



FY95は94.12月からの96.3月までの累計

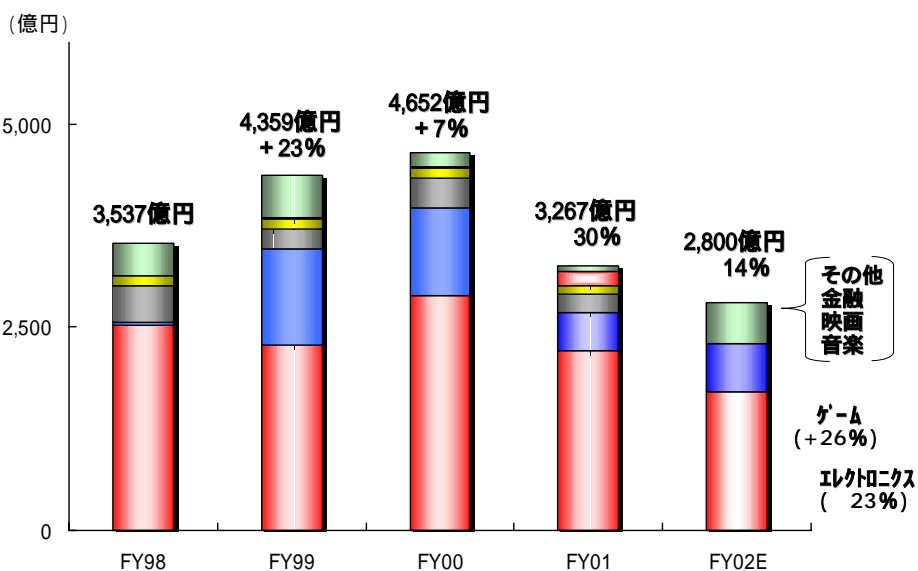
(22)

## PlayStation ソフト生産出荷本数推移 & 計画



(23)

## FY02 設備投資額見通し

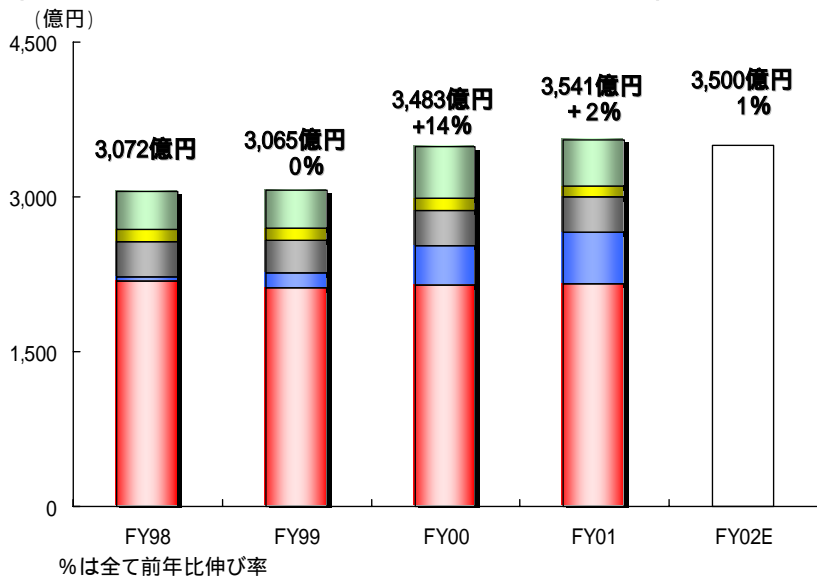


%は全て前年比伸び率

(24)

# FY02 減価償却費 見通し

(無形固定資産と繰延保険契約費の償却費を含むベース)



25

Sony Ericsson



(ご参考)

## ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ

02.2Q 業績 (2002年4 6月)	
<米国会計基準、単位：百万ユーロ>	
売上高	950
当期純利益	83
出荷台数(万台)	500

\* 前年同期の金額は算出しておりません

\* ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズは持分法適用会社であり、同社の当期純利益の50% (持分割合相当分)が、ソニーの連結当期純利益に計上されています

26

# (参考資料) 為替レート推移

(単位:円)

2002年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
<b>米ドル</b>					
市場平均レート	126				
加重平均レート	126				
予約レート	128				
<b>ユーロ</b>					
市場平均レート	115				
加重平均レート	115				
予約レート	115				
2001年度	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
<b>米ドル</b>					
市場平均レート	122	121	123	132	124
加重平均レート	122	121	122	131	123
予約レート	119	121	119	117	119
<b>ユーロ</b>					
市場平均レート	106	107	109	115	109
加重平均レート	106	107	109	115	108
予約レート	107	107	107	108	107

各月のネット輸出金額により加重平均したもの